

## 2014年5月実績概要（メモ）

（2014. 6. 18）

### 1. 生産動向

イ) エチレン 530,400トン

前月比                   + 5.4% (+ 27,300トン)  
前年同月比               ▲ 4.3% (▲ 23,800トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	+ 3.3%	-
定修要因等	+ 8.0%	▲ 6.9%
能力増減	▲ 5.8%	▲ 5.1%
稼働率変動	▲ 0.1%	+ 7.7%
生産増減率	+ 5.4%	▲ 4.3%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月 91.3% → 当月 91.2% ← 前年同月 85.1%

定修プラント：前月 3社3プラント → 当月 2社2プラント ← 前年同月 1社1プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、日数は増加したが、引き続き定修が集中しており、主に定修規模差から LD、PP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、キシレンなどの9品目はマイナスとなった。HD、PS、SM、AN、SBR、トルエンなどの8品目は定修規模差や稼働率要因からプラスとなった。

前年比では、主に定修規模差等から HD、PP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、BR、ベンゼン、キシレンなどの11品目がマイナス。LD、PS、SM、MMAモノマー、トルエンなどの6品目はプラスとなった。

### 2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比は、日数の増加と合わせて定修規模差や稼働率要因から HD、PS はプラス、LD、PP は定修規模差等からマイナスとなった。

前年比では、主に稼働率要因から LD、PS はプラス、HD、PP は定修規模差等からマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、主にゴールデンウィークに伴う営業日数の減少もあり、前月に続いて LD、HD、PP、PS の4樹脂でマイナスとなった。

前年比は、ポリエチレンでは主用途のフィルム分野の出荷がマイナスとなったものの射出成形分野等の出荷が増加しプラス。PP は射出成形分野、フィルム分野等の出荷増加からプラス、PS は包装分野はマイナスとなったが、FS 分野等の出荷増加もあり前年並みの出荷となった。

ハ) 輸出

アジア域内の需要に関しては主だった改善はまだみられていない。当月は前月比で LD、PP でプラス。前年比では LD、HD、PS がプラスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PS で増加し、PP は減少した。在庫率(季節調整済)では PS は若干上昇し、HD は前月並、LD、PP は低下した。在庫水準としては、LD、PP は高め、HD、PS はほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		4月末	5月末
LD	+ 14,500	3.5	3.3
HD	+ 7,100	2.5	2.5
PP	▲ 21,800	3.0	2.8
PS	+ 4,100	1.1	1.2

以上